

警 報

各関係機関の長 殿

福岡県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

このことについて、病虫害発生予察警報第1号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察警報第1号

- 1 対象作物 果樹全般（特にカキ、ナシ、カンキツ）
- 2 病虫害名 果樹カメムシ類（チャバネアカカメムシ、ツヤアカカメムシ、クサキカメムシ）
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生時期 7月中下旬から9月
- 5 発生程度 極めて多い

6 警報発令の根拠

- (1) 筑紫野市の予察灯では7月上旬に9,484頭と本年最大の誘殺があった。この時期の誘殺数としては平成8年の5,579頭を上回り過去41年間で最大であった。また、集合フェロモントラップでも30,742頭と調査開始の平成9年以降最大である。
- (2) 7月8～9日ビーティング調査でのヒノキ樹上におけるチャバネアカカメムシ幼虫の齢構成は、2～3齢が主体で、一部4～5齢も存在しており、例年より生育がかなり進んでいる。そのため、7月中旬から新成虫が発生することが予想される。
- (3) 7月8～9日でのヒノキ球果1個当たりの口針鞘数調査では、平均で3.7本と多く、この時期としては平成10年の調査開始以来、最も多い。
- (4) 7月上旬以降、県内各地のカキ園、ナシ園及びカンキツ園でカメムシ類の加害による被害が発生し始めており、一部で既に甚だしい被害（落果）が発生した園もある。
- (5) 本年はヒノキの球果結実量が地域によって大きく異なり、県北部ではやや少なく、県中央部及び県南部では並である。現在、カメムシ類はヒノキ球果で繁殖中であり、越冬成虫と幼虫が混在して球果を加害している。今後、球果が少ない地域では早い時期にヒノキ球果から離脱して、果樹園への飛来数が多くなり、また、それ以外の地域でも7月下旬以降、飛来数が増加すると思われる。

## 7 防除対策

- (1) 果樹園内を注意して見回り、飛来を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) カメムシ類は飛翔能力が高く、移動距離が長いため、薬剤散布は広域一斉防除の効果が高い。
- (3) 黄色蛍光灯を設置している果樹園では早急に点灯する。

## 8 防除上注意すべき事項

- (1) 防除薬剤は樹種によって使用できる薬剤や回数が異なるため別表及び県果樹病害虫防除基準を参照し、農薬安全使用基準（収穫前日数・使用回数）を遵守する。
- (2) 降雨があると薬剤の残効が短くなるので降雨が続く場合には散布間隔に注意する。
- (3) 黄色蛍光灯はチャバネアオカメムシには忌避作用があるが、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシには効果がないので薬剤防除もあわせて実施する。

表 カメムシ防除薬剤一覧表

作物名	分類	薬剤名	濃度	使用基準		
				収穫前日数	回数	
カキ	ピ	アグロスリン水和剤	1,000	前日	3	
		アーデント水和剤	1,000	7	3	
		ロディー水和剤	1,500	4 5	3	
		テルスター水和剤	1,000	1 4	2	
		パーマチオン水和剤	1,000	4 5	3	
	ク	MR.ジョーカー水和剤	2,000	1 4	2	
		アドマイヤー水和剤	1,000	7	3	
	リ	ディブテレックス乳剤	1,000	1 4	3	
		エルサン水和剤40	800	3 0	4	
		スミチオン水和剤40	1,000	4 5	3	
ナシ	ピ	アグロスリン水和剤	1,000	前日	3	
		ロディー水和剤	1,000	前日	2	
		パーマチオン水和剤	1,000	3 0	5	
		マブリック水和剤20	2,000	3 0	2	
		MR.ジョーカー水和剤	2,000	1 4	2	
	ク	アドマイヤー水和剤	1,000	3 0	2	
		ディブテレックス粉剤	6kg / 10a	7	5	
		スプラサイド水和剤	1,500	( 有袋 7 ( 有袋 3 無袋 4 5 ( 無袋 2		
		リ スミチオン水和剤40	1,000	( 有袋 1 4 ( 有袋 6 無袋 2 1 ( 無袋 6		
		スミチオン粉剤 2	5 ~ 6kg / 10a	( 有袋 1 4 ( 有袋 6 無袋 2 1 ( 無袋 6		
カンキツ	ピ	エルサン水和剤40	1,000	3 0	6	
		マブリック水和剤20	2,000	( <u>2 1</u> ( <u>2</u> 9 0 ( 2		
	ピ	テルスター水和剤	1,000	( <u>前日</u> ( <u>3</u> 3 0 ( 3		
		ミカントップ乳剤	1,000	( <u>3 0</u> ( <u>2</u> 9 0 ( 2		
	ク	MR.ジョーカー水和剤	2,000	1 4	2	
		アドマイヤーフロアブル	2,000	1 4	3	
		エルサン乳剤	1,000	<u>1 4</u>	<u>5</u>	
		リ スミチオン乳剤	1,000	1 4	5	
			ディブテレックス乳剤	800	3 0	5

ピ：ピレスロイド系剤、ク：クロロニコチニル系剤、リ：有機リン剤  
 マブリック水和剤20はクサギカメムシには効果が劣る  
 使用基準に入れた下線部は、みかんでの登録内容を示す